

実施計画事業名		早期療育支援事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部保健課		課長(主幹)名	伊豆 健俊			
総合計画体系	分野	2	保健・福祉・医療					
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します					
	施策	2	子どもたちの健全な成長を支援します					
	関連施策							
現状と課題	障がいや発達に遅れがある児童は、乳幼児期の早期から適切に療育を受けることにより発達の促進や機能向上・社会適応を図ることができると考えられる。そのため、身近な地域で療育を受けられる場を提供していく必要があり、稚内市早期療育センターは宗谷管内として唯一、児童デイサービス事業を実施しており、近隣町村からの利用も受け入れている。							
目的	障がいや発達に遅れがある児童が早期から適切に療育を受けることにより、発達の促進や機能向上・社会適応を図ることを目的とする。							
施策5ヶ年開の	指定管理者制度を活用しながら、児童デイサービス事業を適切に実施する。							
成果指標	名称		単位			22 年度	23 年度	25 年度
	(設定できず)				目標	-	-	-
活動指標	名称		単位			22 年度	23 年度	25 年度
	早期療育通園センターを利用する児童の延べ人数		人		目標	2,400	2,400	2,400
活動指標	説明		早期療育通園センターを利用する児童の延べ人数		実績	2,131	2,154	
	早期療育通園センターを利用する児童の実人数		人		目標	66	66	66
活動指標	説明		早期療育通園センターを利用するため契約を結ぶ児童(保護者)の実人数		実績	75	81	
					目標	-	-	-
活動指標	説明				実績			
					目標	-	-	-
活動指標	説明				実績			
					目標	-	-	-
事業費の実績			単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	16,937	16,744	16,842		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	12,598	12,958	12,708		
	一般財源		千円	4,339	3,786	4,134		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.12	0.15	0.15		
	人件費(B)		千円	815	1,043	1,043		
	計(A+B)		千円	17,752	17,787	17,885		
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 23年度指定管理者更新(23～27年度)							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する> 利用した延べの児童者数が目標とした数値に至らなかったが、概ね前年度までと同様の利用状況であった。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p>a a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 自立支援法を根拠とする児童デイサービスI型に位置づけられる「早期療育通園センター」は、その利用児童の状況においては大半が保護者同伴による就学前の児童で、療育を主体として指定管理者により事業運営がなされている。今後においては利用する児童の保護者のニーズ等が年々変わって来ているため、それに応え得る療育体系の在り方の研究等が必要と考えられる。また、平成24年度(1年間は移行期間)から児童福祉法を根拠として運営がなされる場所であるが、新たな制度の中での取組みについてもできる限り早い段階での対応が求められる。</p>

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--